

国際・経済・港湾委員会記録
【速報版】

令和8年1月28日開会

速報版

- ・この会議録は録音を文字起こしした初稿のため、誤字脱字がある場合があります。
- ・正式な会議録が作成されるまでの暫定的なもののため、今後修正されることがあります。
- ・正式な会議録が掲載された時点で速報版は削除されます。

横浜市会

開会時刻 午後0時3分

◎ 開会宣告

- くしだ久子委員長 これより委員会を開会いたします。
- 遅参委員は田野井一雄委員です。
- 上着の着用は御自由に願います。
- なお、佐藤副市長は、他の委員会に出席しておりますので、審査の状況により当委員会に出席するとのことですので御了承願います。



◎ 市第75号議案の審査、採決

- くしだ久子委員長 経済局関係の審査に入ります。
- なお、当局からの発言に際しては、着座のままで結構です。
- 市第75号議案関係部分を議題に供します。

市第75号議案 令和7年度横浜市一般会計補正予算（第6号）（関係部分）

- くしだ久子委員長 当局の説明を求めます。
- 工藤経済局長 経済局です。よろしくお願いいたします。
- それでは、右肩の資料番号が1となっております資料を御覧ください。
- 市第75号議案、令和7年度横浜市一般会計補正予算第6号につきまして御説明をいたします。
- 1の趣旨でございますが、物価高騰等に直面する生活者を支援するとともに、地域の身近な商店街への支援を通じて地域経済を活性化するため、商店街プレミアム付商品券支援事業について、早期に商店会等が商品券を発行できるよう事業費を増額いたします。また、8年度も引き続き事業を行うため、繰越明許費補正を行うものでございます。
- それでは、表を御覧ください。
- 補正額でございますが、商店街プレミアム付商品券支援事業として、3億7500万円を増額するものでございます。
- 2の事業概要ですが、商店会等がプレミアム付商品券を発行する際のプレミアム分及び事務費の一部を補助いたします。プレミアム率ですが、物価高騰を踏まえまして最大で25%としております。当初予算で実施をされた事業の最大20%から5ポイントの引上げとなっております。また、想定件数として、実施する商店会等は50件を見込んでおります。想定スケジュールでございますが、議決後、速やかに商店会向け事業説明を開始し、3月には申請受付を開始してまいりたいと考えてございます。4月以降、順次、商品券を発行し、市民の皆様に御利用いただけるように、できるだけ迅速に進めてまいります。
- 3の補助上限額ですが、（1）商店会ごとにプレミアム分及び事務費を補助するものについては、利用店舗数に応じて上限額を設けてございます。それぞれの上限額は、表に記載のとおりとなっております。
- （2）区商連もしくは複数の区商連で実施するものについては、表に記載のとおりでございます。
- 4の繰越明許費補正でございますが、8年度も引き続き事業を行うため繰越明許費補正を行います。設定

額は、表に記載のありますとおり3億7500万円でございます。

なお、参考として、補正額の一覧表を記載してございます。

御説明は以上となります。御審査、よろしく願いいたします。

- **くしだ久子委員長** 説明が終わりましたので、質疑に入ります。
- **山田桂一郎委員** 説明ありがとうございました。幾つか聞きたいと思います。
令和7年度の実施で経済効果、これは全体でどのくらいを見込んでいらっしゃるのか、お聞きいたします。
- **栗原市民経済労働部長** 御質問ありがとうございます。
令和7年度につきましては、まだ速報という形になりますけれども、47件、14億円の商品券が発行されたというような状況になっております。
- **山田桂一郎委員** このプレミアム付商品券ですが、売上げ以外で商店街が期待しているところ、これはどんな点があるのか、お伺いいたします。
- **栗原市民経済労働部長** 本会議でのやり取りにもありましたように、令和3年から5回、これまで実施しているというところで、それぞれの商店街でいろいろな工夫をして、発行の時期、あるいは、発行に合わせてイベントをやる、時期についてもイベントに合わせてとかセールに合わせて、あるいは、閑散期にするといったような工夫をしながら、この商品券をうまく活用して売上げに結びつけるといったような取組を、それぞれの商店街で工夫して進めていただいているところです。
- **山田桂一郎委員** どんناところを期待しているかというところで、なるべく新規の客を獲得したりとか、そういうのはないのですか。
- **栗原市民経済労働部長** 商店街にまずは来てもらう。この商品券を使うことで、初めて商店街に来てもらって、またお買物をしてもらうことで、こういう店があったのだというきっかけにしたいというのが、商店街としては一番大きな思いです。それ以降、商店街のほうでも様々な取組を進めることで、リピーターになっていただきたいというようなことを進めているような状況になっています。
- **山田桂一郎委員** この中・広域商品券、こちらの令和7年度の売上げ、これは幾らぐらいあったのか、教えてください。
- **栗原市民経済労働部長** 今回、補正予算で組ませていただくのは、資料にありますように3億7500万円ですが、7年の当初予算につきましては、それよりも低い額で2億8900万円という額になっておりますので、売上げとしては、先ほど申し上げた14億円程度となっており、広域ですか。失礼しました。全体の予算がそうなっていて、令和7年度の、失礼しました、広域としては、7億2000万円となっております。
- **山田桂一郎委員** この令和7年の全売上げ14億円の7億円程度で約半分を占めておりまして、非常に人気のある商品券なのですが、ほかの商店会の販売方法みたいに先着順ですと、そこの桜木町のぴおシティもそうなのですが、ば一とと並んでとても入手困難な、まさにプレミアム商品券になるわけでございますけれども、この入手機会、これを均等にする必要があると考えるのですけれども、今年も抽せん制等をお考えなのかどうか、最後にお聞きします。
- **栗原市民経済労働部長** 御指摘のように、並んでその日でなくなってしまうということもあるのは事実でして、例えば発売日を2日間にするとか、あるいは、委員がおっしゃっていただいたように、6年度のプレミアム商品券は30分程度で完売してしまったので、今年度については、申込みをして抽せんをして商品券を

購入するというプロセスで公平な形にするとか、いろいろな商店街と市商連のほう、広域、個別の商店街で工夫をしているところですので、そういったいろいろなやり方を共有させていただくことで、こういうやり方もあるのだというのを我々としては、いろんな商店街に知らせていくのが役目かなと思っております。

- **山田桂一郎委員** 中・広域商品券をどうされるかというのを聞いています。
- **栗原市民経済労働部長** 中・広域については、今回は、市商連あるいは区商連で申請をいただくという枠組みにしていますので、こういうやり方があるよというのを主体であるそれぞれのところにお知らせして、事務局としては、なるべく公平性みたいなものが、後で不満の残らないような形で進めていただけるようお願いしていきたいと思っております。
- **山田桂一郎委員** 抽せん制をもう既にやられているんですが、今回もそれで、抽せん制でおやりになるのですかということ。
- **工藤経済局長** ありがとうございます。各商店会によって大きなものから小さなものまで様々ございます。過去に、我々、先ほど部長より話をしたとおり、抽せん制で実施したりですとか、窓口で売り切ったりですとか、それは規模ですとか、今回の商品券の商店会の集まりの状況に応じて、区商連でやるのか、あるいは市商連やるのか、区もどいう区が集まってやるのかということによって、どういった方法が一番効果的に実施ができるかということをそれぞれ考えていただきながら、我々も伴走支援で入りますので、過去のそういった例も踏まえながら販売方法を検討してまいりたいと考えてございます。
- **山田桂一郎委員** 分かりました。以上です。
- **坂本勝司委員** 御説明ありがとうございます。
参考までにお聞きしたいのですが、プレミアム率でどのくらいの率の幅が、政令市ぐらいでいいのですけれども、あるのかって、何かデータはお持ちですか。
- **工藤経済局長** すみません。正確な数字は把握しておりませんが、川崎のほうでは、似たような制度をやるときに20%というふう聞いてございますし、我々も過去最大30%ということもありました。ということであると、恐らく20~30ぐらいが一般的かなと思っております。
- **坂本勝司委員** 分かりました。ありがとうございます。
今回は25なので、25%という、結構プレミアム率が高いかなぐらいのイメージはあるので、ぜひ活用していただければと思うのですけれども。
あと、先ほどもちょっと本会議の中で質問させていただいたのですが、それぞれの区の特徴というのは、非常に出ているのかなというふうには感じているのですけれども、それぞれの区単位、それぞれの商店街だけの盛り上がり収まってしまっているのかなと感じるので、横浜市としていろいろとまちづくりの中でいうと、キーワード的には、回遊性みたいなものがあるじゃないですか。なので、松原商店街みたいに、ハマのアメ横みたいに有名になればまた違う世界なのでしょうけれども、市民の方が違う区の商店街に出向くきっかけづくりをしていただくと、もうちょっと商店街的なものが盛り上がってくるのかなというふうにも感じるので、そこら辺の策もぜひいろいろと教えてもらえればと思うのですけれども。
- **工藤経済局長** ありがとうございます。我々の広報というかプロモーションの仕方にもよるかなと思います。効果的なやり方として、区商連なり商店会単位からもいろんな意見、どんなタイミングでどんな催しがあるとか、そういうところを掛け合わせることで効果的にやっていければいいかなと思っております。
それと、もう一点、回遊性という観点からすると、例えば、今回、令和6年、7年と、広域でも我々、市

商連全体でまとめてやっていただいておりますけれども、プレミアム分の使う部分が特定の区に固まったり、あるいは特定の商店街に固まってしまうということがないように、できるだけその公平性を、回遊性を高めるばかりに特定の商店街に固まらないような、そういった取組を我々は考えていく必要があるかなと思うので、ただ、今回のプレミアム商品券のいいところは、とにかく必ず横浜市域内で、商店街の中で消費されるということですから、そういった取組ができるだけ公平性になるような、例えば大規模店舗だけに集まらないとか、小規模店舗にもちゃんと人が、購買者が流れるような仕組みを整えてまいりたい。

今までは、我々も5年間の蓄積がございますので、どういったやり方がいいかということ、また、商店会とも相談をしながら進めてまいりたいと考えてございます。

- **坂本勝司委員** ありがとうございます。ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

我々市会委員もそれぞれの選挙区から出て、それぞれの選挙区の商店街は、結構ふだんから回っている中で認知はしているのですが、他の区の商店街という、なかなかイメージが湧かないので、そういった情報なども経済局からもっと広く発信していただけると、我々、広報の役割も担うのかなと思いますので、ぜひお願ひしたいなと思いますし、今回のこのプレミアム商品券がうまく市民の皆さんの活用につながればいいかなと思いますので、よろしくお願ひします。

- **武田勝久委員** ありがとうございます。教えていただきたいのですが、今回、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しているということで、これって例年の当初予算で入れてきたプレミアム商品券などの支援と若干色合いが異なってくるというか、物価高騰対策だよという、そういう意味合いでの今回の補正だと思えるんですね。そういった意味で、横浜市から、これから商店会さんに説明されると思いますけれども、そういった意味合いでの今回の支援なのですかといったようなお話をされるのか、また、それによって、先ほどもちょっと本会議でもありましたけれども、なるべく多くの方が購入できるように、例えば販売額をちょっと抑えめにして購入しやすい金額に商店会さんが判断されるように、横浜市側が働きかけていくといたらあれですけども、そういったこれまでの取組とちょっと違う、話の角度をちょっと変えて推進していくとか、そういったお考えがあるのかどうか、お聞きしたいと思います。

- **工藤経済局長** ありがとうございます。例えばというか、コロナ禍の頃なんかは、巣ごもり需要に対応してと、できるだけまちへ出てもらうような仕組みを、商店街で買ってもらえるような仕組みということでプレミアムをやりましたけれども、今回、委員がおっしゃっていただいたとおり、物価高騰対策ということが念頭にございますので、そういった意味では、商店会のほうで参加していただく店舗にも、例えば食料品であるとか日常使いで、物価高騰で困っているところへ広く声をかけていただく。

我々も、今回、25%ということで5ポイント引き上げた理由も、物価上昇分に合わせてというところがございますので、そういったところを少し強調させていただきながら商店会と共に、どういうやり方が物価高騰対策として市民の皆様へ届くのかということ、我々も研究をしながらという部分がございますけれども、他都市の例なんかも参考にしながら、できるだけ多くの方に使っていただけるような、そういった仕組みを併せて整えてまいりたいと考えてございます。

- **武田勝久委員** ありがとうございます。

あと、もう一つ、これは今回補正でやることで、来年度、8年度の当初予算には、こういった支援が入らないと聞いているのですが、そうすると、例年だと大体6月頃から早いところは開始していくと聞いていたのですが、今回は早いところだと4月ということで、2か月分、前倒しで進んでいくということになる

のだと思うのです。

そうすると、ちょっと懸念しているのが、例年の時期が同じぐらいかというのは、よく分かりませんが、去年6月に販売されたものが、じゃあ今年も6月頃だなと思われている市民の方がいらっしゃったときに、4月に始まりましてって広報がちゃんと周知、言っていればいいですけども、もしかしたら思っていたより早く始まっちゃって買うタイミングが遅れちゃったとか、そういったこともあるのかなと思いがら、その中で、横浜市として今回の補正で、物価高騰対策としてこういうのをやりますと、例年よりは早まる可能性がありますと、そういった周知も、横浜市としても出していったほうがいいかなというふうには思うのですが、いかがですか。

○ **工藤経済局長** ありがとうございます。その辺は、おっしゃるとおりポイントだと思っていて、商店会のほうにもこれまでのノウハウとかタイミングというものが蓄積されているので、御利用されている市民の皆様も、このぐらいの時期に来ると、そろそろあるかなみたいな感覚もあるかなと思います。ただ、それを我々も、まさにこういった議会の場面を通じてPRするのはもちろんですし、コミュニティー誌とかSNSとかいろんな手段を使って市民の皆様へ直接届けられるように工夫してまいりたいと思います。その辺は、今日も御答弁させていただいていく中で、実は、我々は直接商店会と話をすることがありますので、商店会のほうと、どういうタイミングでどういう広報を打つことでどういう効果的な市民への伝わり方をするのかということも、併せて検討させていただきながら実施をしてみたいと考えてございます。

○ **武田勝久委員** ありがとうございます。以上です。

○ **清水富雄委員** 2の事業概要のところ、もう既に何回かの経験の中で蓄積があるということでお話がありましたけれども、事業説明を開始するのが2月ですね。商店会にも出向くことがあるということなのですが、全体として出向いて説明するというか商店会との接触というのは、どこどこで何か所行くとか、概要をどういう形で説明しているのですか。

○ **栗原市民経済労働部長** 御質問ありがとうございます。

まずは、体系だった市の商店街連合会に御説明して、各区18区に、区のほうにも商店街の連合会の定例的なミーティングの場がありますので、そちらのほうに御説明に伺います。また、日常的な業務の中でも、商店街に訪問して街路灯の話であるとか、あるいは、別の話であるとかでいろいろコミュニケーションを取る場面はありますので、そういった機会を捉えて、今、こういうのを募集していますよというようなお話をさせていただきながら、そういう漏れがないような取組を進めていきたいなと思っております。

○ **清水富雄委員** 漏れがないようにとか、公平性というところで質問させてもらったのですが、そういうことで連合会ですとか、あと、もう一つ、区単位という話も聞いたのですが、それはどんな感じなのですか。

○ **栗原市民経済労働部長** 18区に、主に地域振興課が事務局になっている区の商店街の定例的なミーティングがありますので、そちらに出向いてこの事業の概要を説明していきたいと思っています。

○ **清水富雄委員** 2月、3月、4月と、これはとてもスピード感が大事だと思うので、公平でありながらなるべく早くという、でも、すぐ売れちゃうというお話もありましたし、いずれにしても効果は早いほうがいいと思うので、スピード感を持ってやっていただけたらと思います。

以上です。

○ **くしだ久子委員長** 他に御発言もないようですので、本件については質疑を終了し、採決することに御異

議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

- くしだ久子委員長　それでは、採決いたします。

本件については、原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

- くしだ久子委員長　御異議ないものと認め、市第75号議案関係部分については原案可決と決定いたします。

以上で、経済局関係の審査は終了いたしました。

本日の審査は終了いたしましたので、委員会報告書を議長宛てに提出いたします。



◎ 閉会宣告

- くしだ久子委員長　本日の議題は終了いたしましたので、委員会を閉会いたします。

閉会時刻　午後0時25分

速報版